



労働者の日 ~Labor Day~

北陸銀行 国際部
ニューヨーク駐在員事務所
内間 洋子

毎年9月の第1月曜日は、レイバー・デー (Labor Day) と呼ばれる、労働者を祝うアメリカ合衆国の祝日です。1894年、時の大統領クリーブランドにより、「アメリカの労働者に敬意を表す日」として定められました。

ニューヨークでは同じ週末に労働者を称えるパレードが行われ、高級ブランドショップが建ち並ぶ5番街を1.6kmにわたり150種余りの労働組合団体がスローガンを掲げながら行進します。また一方で、この3連休は、教育機関の6月下旬から9月上旬までの長い夏休みに終わりを告げる、最後のレクリエーションタイムとなります。楽しかった夏を思い出し、近場で家族や友人とピクニックや水遊びを楽しみながら、新学期に向け気持ちを入れ替えます。



【レイバー・デー・パレードでマンハッタンの5番街を行進するストライキ中の全米俳優組合(9月9日・筆者撮影)】

レイバー・デーの前後には、US openテニス、Southern 500 NASCARレースなどが開催され、NFLとカレッジフットボール、バスケットボール等の開幕戦もあり、夏のメジャーリーグベースボールに替わり、秋冬の国民的スポーツシーズンの始まりでもあります。同時期、世界4大ファッションショーの一つ、ニューヨーク・ファッションウィークも開催され、メトロポリタンオペラも開幕し、芸術の秋を迎えます。

労働者のための日といえば、一般に5月1日の「国際メーデー」を思い浮かべます。実際のところ、国際メーデーはそもそもアメリカが発祥の地なのですが、現在アメリカでは、5月のメーデーではなく9月のレイバー・デーが、労働者の日として祝われています。それにはアメリカの労働運動の歴史が関係しています。

南北戦争(1861~1865)後、落ち着きを取り戻したアメリカでは、鉄道など輸送機関の充実と目覚ましい技術革新によって、第二次産業革命が起きました。しかし、大企業の出現によって急速に経済が発展する中、特に移民一世世代、女性、児童等は、劣悪な環境での重労働を強いられ疲弊しきっていました。その問題を解決すべく、ニューヨーク中央労働組合が、同年9月5日を「労働者の日」とし、1日8時間労働、適切な賃金、安全な労働環境、労働者の権利等を訴える平和的行進を行いました。これが後に、9月が連邦の労働者の日に選ばれる要因になっています。

その後、1886年5月1日、シカゴ市中心のヘイマーケット広場で、収穫用農耕機械製造会社マコーミックの労働者たちが、8時間労働制を要求するデモとストライキを行った際に警官隊と衝突し、爆発物が投げ込まれるなどして死傷者がでる事態が発生します。イリノイ州裁判所は、爆弾犯として証拠もなく逮捕起訴されたアナキスト数名を、略式裁判の末処刑するという暴挙に出、このことが、怒れる労働者たちによる1890年の第一回国際メーデーの起源となります(1892年に全員冤罪が認められました)。

1894年5月には、再びシカゴ市で、プルマン・ストライキと呼ばれる大規模な労働闘争が起きます。ニューヨーク出身のジョージ・プルマンは、超高級鉄道寝台車を製造する工場をシカゴ近郊に設立し、鉄道および車両事業で大成功しました。当初は労働者の生活改善にも尽力し、理想の労使関係を追求しましたが、事業が悪化すると、1894年に鉄道労働者の解雇、賃金カット、長時間労働の強制を敢行します。それに反発した労働者達の抗議運動は、全米規模の鉄道ストライキ、暴動へ発展し、政府が鎮圧のため連邦軍を投入したため、双方に多数の死傷者を出す大惨事となりました。

この事件により、労働者あつてのアメリカの発展であること、また労働者の話に耳を傾けることの大切さを痛感したクリーブランド大統領は、労使間及び政府と国民の間の迅速な和解を図るため、労働者に敬意を表する全州共通の祝日を定めることにしました。それにあたり、国際メーデー設立の発端ともなった、5月に起きた上記2件の血生臭い労働闘争との関連を弱めるため、1882年から毎年9月に、ニューヨーク州で平和裏に行われていた労働者の日を採用することにしました。こうして、今日アメリカでは9月に労働者の日が祝われることとなったのです。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp